

# 日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年9月1日水曜日

## 対話グリッドの単一ビューのレイアウトを調整する

対話グリッドの単一ビューのレイアウトを調整する方法がありました。以下に紹介します。

表示のみの場合での単一ビューの表示です。

検索: すべてがテキスト列   
    
    
    
    

Empno	ENAME	JOB
7409	ALLEN	SALESMAN
Mgr	Hiredate	Sal
7056	19810220	1600
Comm		300
Deptno		
30		

編集モードのときの表示の例です。

検索: すべてで検索  
実行 アクション 編集 保存 行の追加 リセット

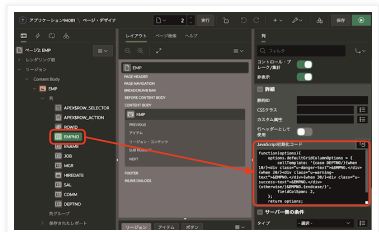
レポートビュー 15日以内

*Empno	Emame	Job
7009	ALLIN	SALESMAN
Mgr	Institute	Sul
7069	129800220	1600
Comm		100
Deptno		90

対話グリッドはサンプル・データセットのEMP/DEPTに含まれる表EMPを、データ・ソースとして作成しています。こちらの記事で作成しているアプリケーションを基にしています。

列EMPNOのdefaultGridColumnOptionsに、fieldColSpanの設定を追加します。

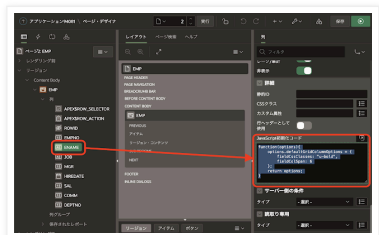
```
function(options){
  options.defaultGridColumnOptions = {
    cellTemplate: '{case DEPTNO/}{when 10/}<div class="u-danger-text">&EMPNO.</div>{when 20/}<div class="u-warning-text">&EMPNO.</div>{when 30/}<div class="u-success-text">&EMPNO.</div>',
    fieldColSpan: 2,
  };
  return options;
}
```



fieldColSpanについては、マニュアルの[こちら](#)に説明があります。単一ビューの横幅は12のグリッドに分割されています。列EMPNOが、そのうちのいくつかのグリッドを使用するかをfieldColSpanとして設定しています。ここでは2を設定しています。この行はEMPNOで始まるので、残りのグリッドは10です。続く項目のfieldColSpanが10以下であれば、一行に含まれるため改行はされません。

列ENAMEのfieldColSpanは6、そして従業員名を太字にするためfieldCssClassesにu-boldを設定します。

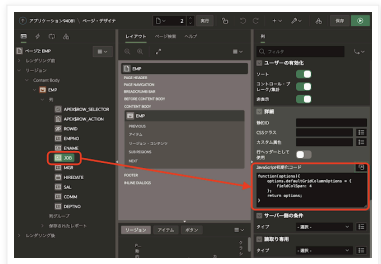
```
function(options){
  options.defaultGridColumnOptions = {
    fieldCssClasses: "u-bold",
    fieldColSpan: 6
  };
  return options;
}
```



defaultGridColumnOptionsに設定可能なプロパティはrecordViewのfieldsに定義されていますが、これはレポート形式の表示と単一ビューの双方に適応されます。(例えばcellTemplateは両方に適用されます。) 実装した結果から、fieldCssClassesとfieldColSpanについては、単一ビューでのみ有効なようです。

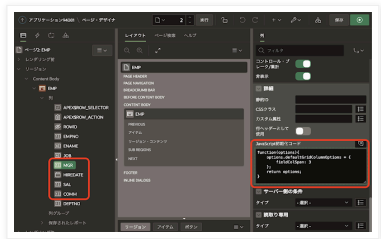
JOBのfieldColSpanには4を設定します。

```
function(options){
  options.defaultGridColumnOptions = {
    fieldColSpan: 4
  };
  return options;
}
```



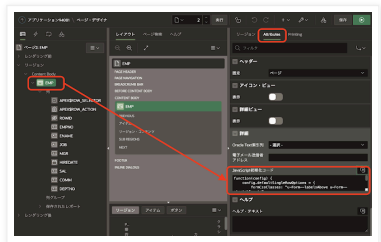
列MGR、HIREDATE、SAL、COMMのfieldColSpanは3を設定します。列DEPTNOにfieldColSpanは設定しません。

```
function(options){
  options.defaultGridColumnOptions = {
    fieldColSpan: 3
  };
  return options;
}
```



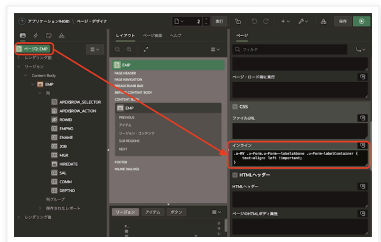
対話グリッド自体のJavaScript初期化コードで、`defaultSingleRowOptions`の`formCssClasses`を設定します。マニュアルのExampleの記載どおりの設定で、CSSクラスの`u-Form--labelsAbove`にてラベルを項目の上部に配置し、`u-Form--stretchInputs`で項目を`fieldColSpan`で指定した幅に広げます。(このCSSクラスはUniversal ThemeのLayout Modifiersだと思うのですが、残念ながらここに説明を見つけることができませんでした。)

```
function(config) {
  config.defaultSingleRowOptions = {
    formCssClasses: "u-Form--labelsAbove u-Form--stretchInputs"
  };
  return config;
}
```



このままだとラベルの配置が右寄せになるので、左寄せに変えます。ページのプロパティのCSSにインラインで、`u-Form-labelContainer`クラスのスタイル`text-align`を左寄せ(left)に上書きします。

```
.a-RV .u-Form.u-Form--labelsAbove .u-Form-labelContainer {
  text-align: left !important;
}
```



以上の設定で、最初に載せた単一ビューのレイアウトになります。

作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。  
<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/singlerowview-layout.sql>

Oracle APEXのアプリケーション開発の参考になれば幸いです。

Yuji N. 時刻: 11:06

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

#### 自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by **Blogger**.